

広報

だんち

2025
3月号

NO.518

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和7年3月28日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

3月団地の言葉

「慣れた作業も

指さし呼称で安全確認」

この紙面が発行される頃には加工センターとマリンセンターの年度末が目前に迫っている頃です。3月に入ってから令和6年度の財務諸表や科目明細、固定資産台帳等を見直してスムーズに決算事務に取り掛かれる様に準備を進めているところです。

さて、昨年のこの時期には物流・運送業界の「2024年問題」について触れましたが今年も「2025年問題」について触れたいと思います。この様に書くと「毎年何か問題がある」と思われますが今年も75歳以上の後期高齢者数が800万人を突破する年と言え、ご理解頂けると幸いです。この超高齢化社会を迎える事で発生する影響・問題が2025年問題と称されます。中小企業庁の資料によれば今年70歳を超える中小・小規模事業者の経営者の数は245万人、その内約半数の127万人(日本の企業全体の約3割)が後継者未定、言い方を換えれば廃業準備軍となります。仮にその全てが廃業すれば650万人の雇用と約22兆円のGDPが失われる可能

性があると言われている。最近はその状況を打開すべくM&A市場が活況となつていますが未だに悪いイメージを持たれている経営者も少なくありません。具体的には「買収」や「乗っ取り」などと表現されたり、業歴の長い企業では「歴史ある看板を売った」と否定的な声がある事もマイナスイメージを持たれる一因かと思えます。ただ、個人的な考えですが企業がこれまで築いてきた伝統や積み重ねた信用と技術に対して値段が付く事は決して悪い事ではなく、むしろ第三者が自社の価値を評価してくれるのは誇れる事ではないでしょうか? 自社で作った製品が高く評価され高値で取り引きされる事と同じく自分が人生を掛けて育てた会社が高く評価され高値で引き継がれる。看板(社名)は変われど社員の雇用は維持され技術やノウハウが残ると思えば廃業を選び積み上げた物をリセットするよりも遙かに前向きではないかと思えます。実際に後継者難での廃業と類似しますが人手不足倒産も増加傾向にあります。企業信用調査会社のデータによると2024年の人材不足による倒産は342件ののぼります。前年は260件で「過去最多」と言われましたがそれを大幅に上回るペースです。今後この傾向は続くと思われる日本企業にとって解決す

べき深刻な課題・・・いや問題と言えます。ファミレスの配膳ロボットや物資配送用のドローン、輸送用トラックの自動運転など様々な業界が省人化を目指し技術開発が進められています。本格的に実装されれば人手不足が緩和に向かうのかもしれない。既に後継者候補がいる、または既に事業承継が済んでいる企業は恵まれていると言う話をしたかったので逆に関心を感じて話をした。今月のだんちの言葉はかつお技術研究所さんの作品です。

総会のお知らせ

日 時 令和7年6月19日(木)
受付時間 14時30分
開 会 15時00分
会 場 ホテルアンビア松風閣

宜しくお願い申し上げます。

今月の紙面

- p2 3月の定例役員会/51期生終了式/59期生面接を実施
- p3 薪置き場・駐車場の樹木伐採を行いました/静岡県津波対策推進旬間/新入職員のご紹介/総会のお知らせ
- p4 カット情報/百味恋

4月の組合行事予定

4月7日(月)

定例役員会

4月の暦

4月29日(月)

昭和の日

◆3月の定例役員会◆

去る3月10日に、3月度定例役員会が開催されました。

1 令和7年度予算案の上程

事務局の各部門長により作成した部門別損益を取りまとめた令和7年度予算案が上程された。これについては、1か月間の検討機関を設けて役員各位にて検討し、次回4月会議にて審議し決定したいと説明され、原案通り継続審議とされた。

2 鯉節加工部の体制等変換に向けての意見確認について

令和7年度の重点取組事項案の一つとして鯉節加工部門の運営に関する計画を構築するとしているが、今年度の取り組みとして意見の集約をはかった。事業立ち上げの経緯から施設整備や供用開始後の流れを説明したうえで意見交換を行い、利用者の事業利用の継続意思を確認した上で組合としての方向性を定めるとした。

3 その他報告連絡事項

「人事採用関連」「日本鯉節協会の年会費案について」「各種規程変更」ほか3件について了承された。

◆51期生終了式◆

50期生13名の3年実習終了式を3月11日に行いました。

かけはしミャンマーの送り出し機関より送り出した第1期生15名は2022年3月24日來日しました。当時、コロナ伝染病の影響で



集団行動が制限され、集合講習は隔離施設でやるのが条件でした。そのため、13名の来日後の集合講習は袋井にある施設に依頼して実施しました。

15名の内、大半の実習生は真面目に仕事をやり、日本語の勉強もしつかり続けました。残念ながら

2名の女子は1年ちよつと経ったぐらいで退職して、東京辺りへ特定活動に行きました。本来、3月23日で3年実習を終了し、監理団体として全員に帰国させる義務を持ちますが、ミャンマーの時勢により、日本政府がミャンマー人に特定活動ビザをあげることで在留や就労を認められています。13名の内12名はこの制度を利用して焼津から離れ、1名のみ今の会社で特定技能1号生として残りました。

技能実習法では来日後の集合講習時間の制限があり、ただし、必ず監理団体でやらなくてはならないことではないです。多数の監理団体の集合講習を他所に委託することが散見されます。この期生は他所の隔離施設にて集合講習実施したため、監理団体の職員との信頼関係が薄く、礼儀、行儀が悪い子が何人かいます。集合講習を他所へ依頼する場合、所属する監理団体の味付けが難しく、集団生活のルールを守る意識が弱く、監理団体としての実習活動中の生活指導は苦勞する面が多々

ありました。物事は最初が肝心と言うように、実習生来日後の最初の集合講習は非常に大事なことを痛感します。

3月23日の時点で、12名は静岡入管で特定活動ビザを取得、1名は特定技能1号のビザを取得しました。みなさんが他所で活躍することを祈りいたします。

◆59期生面接を実施◆

去る1月下旬、59期生募集の6社より募集面接を実施しました。合計16名の募集に対し応募者は3倍の人数48名があり、ズーム面接方式にて受け入れ企業の担当者により人選を決めました。

今回募集の男子7名について、ミャンマー政府の当時の政策では18から23歳までが出国制限範囲外だったため適任者を受け入れ企業が決めましたが、その後、送り出し機関よりミャンマー政府の政策が変わり、18から35歳までの男子が出国制限となる連絡が入り、急遽、男子6名の合格を取り消し、1名を40歳の男子に変更したのです。



女子については年齢の制限がないにしても、本日、ミャンマー国営放送の情報では政府の政策がまた変わり、出国人数の制限を改めて作り、デマンドレターの受理を5月2日以降に開始すると決まり、予定していた入国は

間違はなく遅れます。何れにしても、ミャンマー政局が不安定のため、不安要素は潜在している」と認識しております。
面接合格者が予定通り来日できることを期待しております。

◆薪置き場・駐車場の樹木伐採を行いました◆



2月25日(火)～27日(木)の3日間で地元(木)の増井造園さんをお願いして、組合第3駐車場と業務課薪置き場の樹木の撤去を行いました。
気温が上昇してくると樹木が成長して枝葉が生い茂り、視界が悪くなっています。

交差点付近に生えているものあり道路標識が隠れてしまうので、樹木が枯れている時期に伐採しようとして今回撤去を決断しました。

重機で掘り起こした根は想像よりも大きくて驚きました。撤去した樹木はトラックで何往復もして回収して頂きました。

撤去後に整地もして頂いたため、景観も見通しもよくなりました。
安全の為に今の状態を保てる様にしていきます。

◆静岡県津波対策推進旬間◆

皆さんは3月7日(金)から16日(日)ま

での10日間が「静岡県津波対策推進旬間」と定められている事をご存じでしょうか？静岡県県のホームページによると「津波に対する正しい知識の普及を図るとともに緊急避難場所等や避難経路等の点検を通じ迅速かつ適切な避難行動を目指す」とされています。この推進旬間に先駆けて焼津市では3月1日(土)に大井川港にて「焼津市水難救助訓練」が行われました。訓練では津波災害により漂流した人や津波救命艇に避難した人、建物の屋上に避難した人を迅速に救助できる様に手順の確認を実施しました。訓練には長谷川事務局長も参加し、訓練開始と同時にドローンをフライトさせ大井川港上空から「漂流者捜索」を行い要救助者の発見から救助され岸壁まで無事に移送されるまでの経過観察(空撮)を担いました。今月11日は東日本大震災から14年が経過します。
沿岸部で暮らして働く私たちにとつて津波は他人事ではありません。焼津市で行われる防災訓練・避難訓練には積極的に参加し、被災した時にどの様に行動すべきか身に付けておきましょう。



◆新入職員のご紹介◆

業務管理部付

江間 湧斗



2月16日より営業部冷蔵グループ三課に配属されました、江間湧斗と申します。

前職は空調設備の仕事を行っていました。

自分は多趣味で、キャンプと特に釣りが好きなので、焼津で魚がよく釣れる場所があれば教えていただけたら嬉しいです。
水産業の仕事は全くの未経験で、右往左往し先輩方にご迷惑をおかけしていますが、少しでも早く皆様の力になれるよう一生懸命努めてまいりますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。

総会のお知らせ

(協)焼津水産加工センター第53期通常総会・(株)焼津マリンセンター第17期通常総会を左記の通りに行います。

日 時 令和7年6月19日(木)
受付時間 14時30分
開 会 15時00分
会 場 ホテルアンビシア松風閣

例年と開催曜日・会場が異なりますので、ご留意いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

2025年（1月計）の輸出入

※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格

※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸出>	2025年		2024年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タイ	608	140,973	75	14,723
フィリピン	147	39,522	172	48,897
アメリカ合衆国	0	285	—	—
計	755	180,780	247	63,620

<輸入>	2025年		2024年	
	数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
インドネシア	2,278	483,552	4,223	978,964
ベトナム	100	15,484	—	—
セーシェル	82	14,944	—	—
計	2,484	518,604	4,292	989,921

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2024年(単位:t)	19,247	20,876	19,165	20,335	20,580	19,429	16,628	26,972	28,011	27,006	26,962	25,727	270,938

§ 国内主要漁港市場の水揚（2025年1月計）

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

<生カツオ>	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	55	887 円	187	751 円	29%	118%
<冷カツオ>	9,544	289 円	13,632	295 円	70%	98%
<カツオ合計>	9,599	292 円	13,819	301 円	69%	97%

§ 焼津水揚（2025年1～2月計）

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

<1本釣カツオ>	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	3,011	332 円	2,495	375 円	121%	89%
<巻網カツオ>	6,389	247 円	9,871	252 円	65%	98%
<カツオ合計>	9,400	274 円	12,366	277 円	76%	99%

百味窓

無形の文化遺産

ユネスコ（国連教育科学文化機関）の政府間委員会は2024年12月4日（日本時間5日）、中国の伝統的な祝日「春節」（旧正月）を無形文化遺産に登録することを決めた。ご存じの人口大移動はこの時期に発生する。如何なる遠方においても、この時のみ、絶対、親のところに帰り、家族同士で一緒に楽しく新年を迎える。これは東方文化特有の「骨肉の情」を表すと言えるところだ。

儒教の教えで、人として常に踏み行い、重んずべき道の「三綱」「五常」がある。「三綱」は君臣・父子・夫婦の間の道徳。「五常」は仁・義・礼・智・信の五つの道義である。数千年の歴史の流れで、この意識は東方人のDNAに沈殿していました。特に父は子の綱であり、親を大事にすることは普通の意識となっている。

西洋文化で仁愛・平等を主張する面が多いですが、そこまでになるには大砲に依存した面が多かった。弱肉強食の意識はそう簡単には変わることではないでしょう。強者はルールを作り、弱者に従ってもらおう場面も散見される。特に最近ではこの現象が増えている。利を求めることが当たり前で、他のことは二の次となりました。